

巻 頭 言

図書館長 川崎 佳代子

佐久大学は、発足から4年目となり、佐久大学看護研究雑誌（紀要）は第4巻を刊行するはこびになりました。

大学が発刊する紀要には、教員の研究論文集としての学会誌的な性格と、学問的な公共性からは逸脱しない大きな自由度もあって、大学の独自性を表現する広報誌的な役割もあると思います。

従って大学が地域社会、広くは世界に向かって自らの姿を公開しアピールする媒体として大学紀要の役割はますます大きくなるのではないかと考えています。

本学看護研究雑誌（紀要）は、電子情報化、国際化の時代にあって、国際情報発信の役割を少しでも果たせるようにと言う考えで、論文タイトル、論文要旨、図表などはできるだけ英文表示するようになっています。

内容も、初年度から巻を重ねて、大学の教育・研究を担うそれぞれの専門分野から多彩な論文や報告が掲載され、年々充実してきていると思いますし、国際交流を推進している本学の立場を背景に、国際共同研究に関する論文や報告が多いのも特徴だと思います。

今年は大学の完成年次に当たり、初めての卒業生が間もなく看護専門職として社会に巣立ってまいります。彼らと同じ4年間の歩みをもつ本誌も、未来に向かって飛躍を続けていく使命があることを改めて感じる昨今です。

本看護研究雑誌（紀要）が、本学内・外の方々に多くの情報や示唆を提供するとともに、広く意見交換、自己研鑽する機会になって看護学の発展に貢献できることを目指して行きたいと願っています。

皆様からの忌憚のないご意見・ご感想を賜れば幸甚です。

2012年 3月